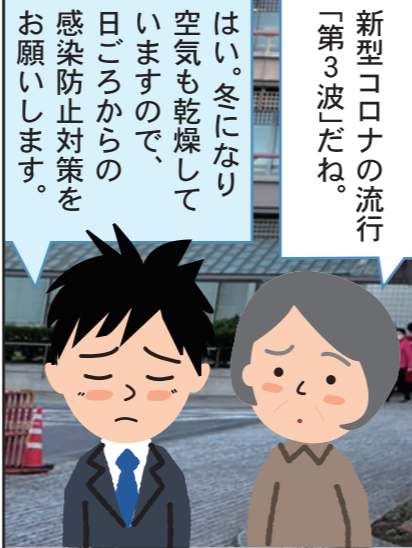


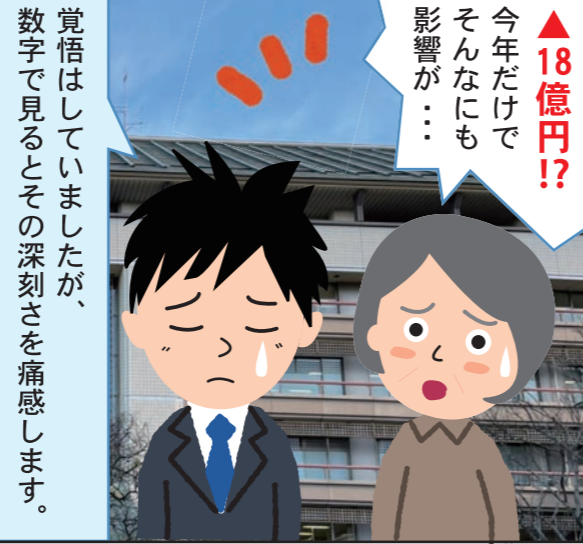
大打撃を受ける成田市財政の **今**と**これから**

大打撃を受けている空港関連企業を含む法人市民税 ▲11・48億円
 コロナ禍で納税困難な固定資産税などの支払い猶予分 ▲6・84億円

はい。成田市は空港を要する観光都市なので、「移動」と「観光」の両面から大打撃を受けています。12月議会では18・32億円の市税が落ち込んだため、**減収分を市債（※税金不足を借金で補うための債券）で補填する財政措置を行いました。**

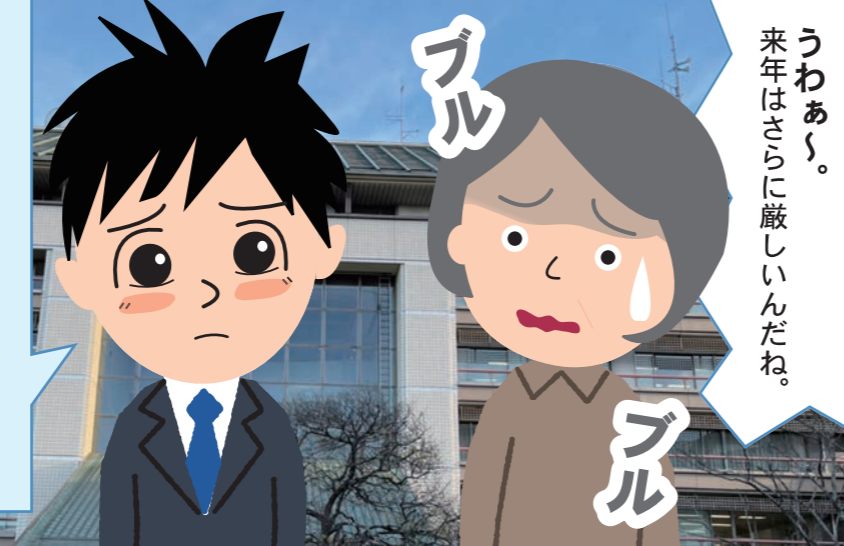


はい。来年度予算は策定段階（10月時点）ですが、前年度と比較して市税など**30億円の減収見込み**となっています。



ワクチン開発など新型コロナの収束時期や、その後の社会経済の影響を見通すことは困難ですが、この危機を乗り越えるために、社会情勢も注視しながら財源確保と歳出削減に力を注いでまいります。

市民サービスが低下しないように財政調整基金（市の貯金）の切り崩しや、国・県からの補助金・助成制度などで財源を補っていきませんが、**既存事業の縮小や廃止の検討は避けられない**と思います。



WAVE

Shingo Amamiya Narita City Report

Vol.55

コロナ対策と収収減で、ひっ迫する成田市財政。

成田市議会議員

雨宮しんご



12月会議において、新型コロナの感染拡大に伴う市財政への影響が明らかになってきました。成田空港を抱え、観光都市である市のダメージは大きく、GOTOキャンペーンによる経済活動の動きもありましたが、感染再拡大により厳しい冬を迎えています。

成田商工会議所の調査によりますと、**ほぼすべての回答事業者に影響が生じ、その半数以上が50%以上の売上減少**となっています。これにより、法人市民税や個人市民税、地方消費税交付金などの歳入の減少は避けられそうもありません。

また、国からのコロナ対策の財政支援も来年度以降は不透明なため、**新年度は事業の縮小・廃止など予算規模の圧縮**を視野に入れなければならぬ状況となっています。

厳しい状況が続きますが、この危機を乗り越えるために困窮者や企業への適切で速やかな支援などにより、市民サービスの低下を招かないよう行財政改革を着実に推進してまいります。



時々刻々と変わる感染状況などについて雨宮しんご公式ホームページやTwitter、Facebookなどで即時発信しています。是非、チェックください！



www.ama-shin.net

雨宮しんご

検索

雨宮真吾事務所

〒286-0018 成田市吾妻 3-48-28
 TEL : 0476-27-5918/FAX : 0476-37-7608

- 1978年10月31日(42歳)
- 空港対策特別委員会
- 全国若手市議会議員の会
- 成田市議会議員(4期)
- 建設水道常任委員会
- 関東若手市議会議員の会 会長
- 明治大学大学院 修士
- 一般社団法人 成田青年会議所OB
- 日本サーフィン連盟公認インストラクター
- 議会運営委員会 委員長
- 成田商工会議所青年部 副会長



成田空港の現状と見通し。

入国制限の緩和と水際対策の強化の現状

1 コロナ禍が直撃！成田空港の経営状況

IATA(国際航空運送協会)によると、新型コロナの世界的流行に伴い航空業界は▲15兆円超と業界全体が大打撃を受けています。また、回復には国内線が2023年、国際線が2024年の見通しとなるなど長期化の様相を呈しています。

成田国際空港会社(NAA)においては、通期で▲783億円の見通しです。通期の航空旅客数は377万人と、前年の10%にも満たなく、国際線は95%減の188万人、緊急事態宣言解除以降に少しずつ需要が回復傾向にあった国内線も75%減の189万人と厳しい状況が続いています。

成田空港は世界に開かれた日本の表玄関であると共に、成田市の財政を支える根幹でもあり、一日も早く賑わいが戻ることを願ってやみません。



2 入国緩和制限の動きと、感染拡大防止の取り組み

政府は7月以降、11の国や地域との間でビジネスの往来を再開させた他、10月からは全世界を対象に留学生などの新規入国を認めています。これにより日本に入国した外国人は6万3040人(11月末時点)となっています。

ベトナム 2万911人
中国 1万6403人
インドネシア 3257人
タイ 3172人など
(11月末時点：出入国在留管理庁)

「強制」ではなく、「要請」という困難

現在、陰性であったとしても入国・帰国者には公共交通機関を利用しないよう「要請」していますが、罰則や法的拘束力がないことや経済的負担感などから、鉄道やバスなどを利用する人が相次いでいるのが実情です。入国者専用のバス・鉄道車両の準備を一日も早く整備し、市民の不安感を払拭いただくよう議会で強く要望しました。



12月16日から専用バスが運行スタートしました！

3 検疫体制の強化と成田PCR検査センター

成田空港では入国者に対し「抗原検査」を実施するなど厚労省、経産省、国交省等が連携して水際対策が実施されています。また、海外との往来も徐々に緩和される中、出国前にPCR検査を受けられるセンターも11月に設置されました。成田空港会社によると、現在70人/日程度の方が利用されているということです。(24時間年中無休) また、サービスの自動化や旅客と空港スタッフの接触機会を減らすなど、感染対策の徹底と旅客増の両立を目指した試行錯誤が続いています。



4 成田空港の機能強化に向けて (第三滑走路、B滑走路の延長)

NAAから、空港拡張予定地に住む地権者の土地測量や家屋調査に着手したとの報告がありました。土地面積を確定させて住宅や畑などの拡張予定地を取得し、第3滑走路新設やB滑走路延伸の建設工事に入ります。なお、現時点で新型コロナによる工程の遅れはなく、計画通り機能強化が推進されています。

5 成田空港周辺対策交付金が44億円→71億円に！しかし、割合低下が憂慮。

B滑走路の延長、3本目滑走路の新設、夜間飛行制限の緩和によって年間発着回数を50万回に拡大することを条件に、空港周辺10市町に対する周辺対策交付金が71億円に増額されました。飛行回数などにより変動はありましたが、昨年は総額44億円支給のうち約12億円と、例年27%前後が成田市に分配されています。市では防音工事を行った公共施設の維持費や空港周辺道路、公園、消防施設、そして農業施設などの整備に充てていましたが、新制度では「地域振興枠」といった成田市が除外される交付枠が設けられるなど、交付金額の割合低下が憂慮されることから、委員会で空港周辺環境の保全と整備を推進するためにも適切に分配いただけるようNAAに要望しました。

児童生徒全員にiPadが整備(10,883台)されます！

小中学生に1人1台の学習用端末(タブレット端末)を配備する国の「GIGAスクール構想」の実現に向け、成田市でも今年度中にiPadが行き渡る見込みです。子どもたちの情報リテラシーの育成による、新型コロナやインフルエンザなどオンライン授業の必要性は高まっています。



会派政友クラブにおいて速やかな整備を要望！！

同時に、ソフト面である指導教員のICTリテラシーや指導力も不可欠となることから、全面実施に向けた教員の指導スキルの向上と、ICT支援員の適切な配置による情報教育の充実を求めてまいります。

